

ワンパーセント
イオン1%クラブ



日本とアジア各国の高校生が、共通の社会問題について英語で議論(アジア ユースリーダーズ)



2023年7月23日(日)、イオンチアーズクラブ「札幌平岡」「手稲山口」「札幌琴似」のメンバー6名が、来場されたお客さまへのコンサートプログラムやPMF2023のガイドブックの配布、客席へのご案内、場内アナウンスにチャレンジしました。

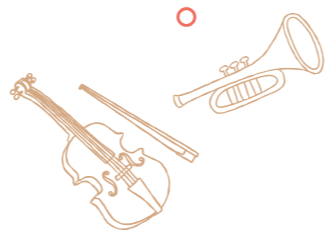
実際のコンサート会場での活動であるため、最初は少し緊張した様子の子どもたちでしたが、徐々に緊張もほぐれ、コンサート運営に関する仕事を楽しく体験することができました。

2023年7月27日(木)イオンチアーズクラブ「東札幌」「札幌元町」「手稲山口」のメンバー9名がPMFオーケストラの活動の中心である札幌コンサートホールKitaraの館内やバックヤードを歩き回りながら、オーケストラメンバーが普段使っている楽屋やリハーサル室、大きな楽器を搬入・運搬するための設備などの見学を行いました。

また、リハーサルが終わったばかりのオーケストラメンバー3名と対面し、間近で楽器の演奏を聴かせていただきました。メンバーの方には、子どもたちから投げかけられるたくさんの質問にも、ひとつひとつ丁寧に回答いただきました。子どもたちは、「今日学んだ内容を、家に帰ってから家族に説明する!」と言って、楽器の仕組みや上手に演奏するポイントなどを、真剣にメモしていました。



どうしたら
きれいな音が
出るの?



2023年9月3日(日)、イオンチアーズクラブ「松本」上田のメンバー9名が、セイジ・オザワ松本フェスティバルスクリーンコンサートにてコラボ企画の活動を行いました。

会場入口でお客さまのお出迎えや、お客さまがご持参のチケットの半券切りなどにチャレンジしました。最初は「ごちない様子だった子どもたちも、次第に「楽しんでいってください!」とお客さまに声をかけることができました。

公益財団法人サイトウ・キネン財団の協力のもと、まつもと市民芸術館でセイジ・オザワ松本フェスティバルとのコラボ企画の活動を行いました。

「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」コラボ企画



「イオンチアーズクラブ×PMF札幌」コラボ企画

公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌委員会との協力のもと、札幌コンサートホールKitaraで、パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌(PMF)のオーケストラと交流するコラボ企画の活動を行いました。

活動
レポート
2

芸術に触れ、感性を育む。



実際に見て、触れて、考える

AEON Cheers Club Report

イオンチアーズクラブ活動レポート

イオンチアーズクラブとは

小中学生を対象とし、環境や社会に興味・関心を持ち、考える力を育む場として、全国400店舗を拠点にさまざまな体験学習を行っています。

活動
レポート
1

種から、 農作物を育てる。

チアーズ農園では、農作物を種や苗から育て、農業について学びます。



第4回目
2023
07 / 29
Sat

大切に育ててきた とうもろこしを収穫!

イオンチアーズクラブ「つくば」「土浦」「下妻」「笠間」「ウエルシアつくば」のメンバー43名が「イオン茨城牛久農園」内のチアーズ農園に集合し、とうもろこしの収穫を行いました。

春に種をまき、畑の除草作業など、約3か月をかけて大事に育ててきたとうもろこしが大きく育ちました。収穫したばかりのとうもろこしを大事に抱きしめ、農作物を種から育てる大変さと喜びを実感しました。



とうもろこし、
とったよ!

イオンチアーズクラブ「つくば」「土浦」「下妻」のメンバーがイオン茨城牛久農園内に新設された加工場の見学、さつまいも畑の除草作業、小松菜の収穫を行いました。

加工場では栽培・収穫された小松菜が袋詰めされ、出荷まで保管される様子を見学。その後、収穫方法についてのレクチャーを受けて、ハサミで根を切り、小松菜を収穫しました。

第6回目
2023
09 / 30
Sat

楽しみにしていた 小松菜の収穫!



これでおみそ汁を
作ってもらおう!

「わくわくキャッシュシユレス体験」
たのしくまなぶお金のミライ」を開催



イオンフィナンシャルサービス株式会社の協力のもと、2023年8月19日(土)〜20日(日)にイオンモール白山、2023年10月14日(土)〜15日(日)にイオンモール札幌平岡で、近隣にお住まいのお子さまやイオンチアーズクラブのメンバーたちを対象に、お金の歴史やキャッシュレス決済の仕組みを学ぶ金融教育イベントを開催しました。

「このイベントは、お金の価値や金融の働きについて理解を促すとともに、キャッシュレス決済は利便性が高く、衛生的で安全・安心な決済方法であることを、楽しく体験しながら学んでいただくことを目的に実施しています。子どもたちは、お金の歴史クイズに挑戦したり、現金とキャッシュレス決済のどちらが速いか比べたり、普段持つことのない量の小銭や紙幣を持ち上げて貨幣の重さを体感しました。子どもたちは、「キャッシュレス決済はとても簡単で便利。決済するときに音が鳴るのが楽しい」「お金の歴史クイズで、昔のお金を知ることができて、難しかったけど面白かった」と、体験を楽しんだ様子でした。



イオン チアーズクラブ
メンバー募集中!

- Q お金はかかりますか?
- A 入会金・年会費はかかりません。
- Q どこで活動していますか?
- A 所属するクラブを拠点に、山・畑などで活動します。

入会をご希望の方は、こちらのコードを読み取り、新規登録フォームから申請をお願いします。
<https://aeon1p.or.jp/aeoncheersclub/ja/register>



考えをまとめ、書く力を養う

中学生作文コンクール

中学生作文コンクールとは

中学生が、社会問題をテーマに自分自身の考えをまとめ、書く力を養うことを目的に、2003年から実施しています。今年、「地球環境のために今できること」というテーマで、7,787件の作文が寄せられました。

表彰式を開催

今回は、「地球環境のために今できること」をテーマに作文を募集し、金賞に選ばれた10名の中学生の皆さんを2023年11月25日(土)に東京で行われた表彰式にご招待いたしました。

賞状授与の後、受賞者代表の3名が作文を朗読し、環境問題に対して自分が出来ることを披露しました。受賞者は表彰式終了後、1泊2日の環境ツアーに出発し、神宮外苑、明治神宮などを訪問。夜には、植物工場のあるレストランで食事をするなど、環境への意識が高まるツアーでした。

第21回テーマ

「地球環境のために
今できること」





©UNICEF Cambodia/2022/Kemal Gaitnazarov



子どもたちに安全な水を
カンボジア等の一部地域では、遠方への水汲みに時間をとられ、学校に通えない子どもたちがいます。また、衛生的な水の確保が難しく、不衛生な池の水や、健康を害する恐れのある物質を含んだ地下水が生活用水として使われています。

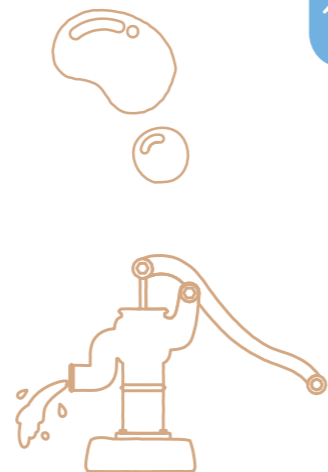
当財団は、安全な水は子どもたちの命を守り、健やかな成長を支える基盤であると考え、2010年より本キャンペーンを毎年実施しています。支援金は、給水施設の設置等に役立てられ、これまでに60万人を超える人々が安全な水を使用できるようになりました。

2023年7月7日(金)、お客さまからお寄せいただいた募金25,744,643円と、当財団からの拠出金25,744,643円を合わせた総額51,489,286円を、公益財団法人日本ユニセフ協会を通じて寄付しました。

イオンユニセフ セーフウォーターキャンペーン 支援金51,489,286円の寄付



右から公益財団法人日本ユニセフ協会 専務理事 早水 研 様
駐日カンボジア王国大使館 特命全権大使 トウイ・リー 閣下
公益財団法人イオンワンパーセントクラブ 理事長 森 美樹



アジア ユースリーダーズ 国境を越え、 多様な価値観を学ぶ

アジア ユースリーダーズとは
アジア各国の高校生が共通の社会問題について英語で議論するプログラムです。文化の違いや、価値観の多様性を知るとともに、意見を述べる勇気や自分の提案を相手に理解させる力等を高めることを目的としています。

2023年度 アジア ユースリーダーズを開催

日本の高校生30名と、アジアから日本を訪れた高校生50名が参加し、「食品メーカーが取り組むべきCO2削減」をテーマに東京でプログラムを開催しました。

アジア ユースリーダーズは、高校生が、社会問題をテーマに視察や専門家によるレクチャーに基づき、英語を共通言語として議論を重ね、解決策を提案するプログラムです。異なる価値観を持つインドネシア、カンボジア、タイ、中国、日本、ベトナム、マレーシア、ラオスの8か国の高校生たちが、文化の違いや価値観の多様性を知るとともに、グループでのディスカッションを通して、意見を述べる勇気や自分の提案を相手に理解させる力、結論を導き出す力等を高めることを目的としています。

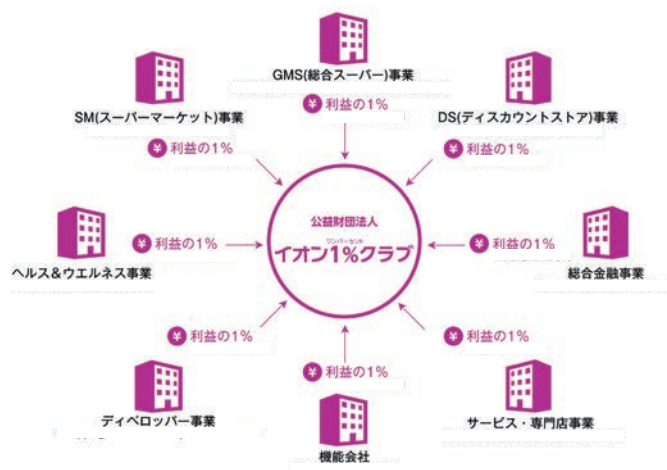
プログラムの前半は、講義を受け「カーボンニュートラル」や「食品メーカーの環境への取り組み」について学びました。他者の意見を尊重しつつ、チームで結論を導き出せるようグループディスカッションを行いました。

プログラムの後半では、成果発表会に向けて10チームに分かれ、プレゼンテーションの準備を行いました。講義や視察で学んだことを盛り込み、自分たちでVTRを作ったり、コントを取り入れて発表したり、発想力豊かで、活気ある発表となりました。

財団概要

イオンワンパーセントクラブは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオングループの基本理念を具体的な行動に移し、社会的責任を果たすことを目的に、グループ各社の参画のもと、1990年に設立されました。

以来30年以上にわたり、お客さまにイオングループをご利用いただき、生まれた利益の1%相当額をもとに、「子どもたちの健全な育成」「諸外国との友好親善」「地域の発展への貢献」「災害復興支援」を主な事業領域として、環境・社会貢献活動に取り組んでいます。



ご寄付のお願い

次代を担う子どもたちのために、皆さまのご支援をお願いいたします。

イオンワンパーセントクラブでは、子どもたちの教育や国際交流、地域文化の保全などの活動に取り組んでいます。なお、当財団は、内閣総理大臣より「公益財団法人」としての認定を受けておりますので、当財団への寄付金については、所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。当財団より、ご寄付の領収証をお送りいたしますので、申告の際にご使用ください。今後、私たちの活動内容をさらに充実させていくために、ぜひご寄付をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

ご寄付の方法

現金での銀行振込 クレジット決済 WAON POINT

右記のコードを読み取り、寄付受付画面にお進みいただき、ご寄付の方法をお選びください。



※個人の方が控除を受けるには、現在、年末調整をされている方でも、確定申告が必要となります。詳しい内容につきましては、最寄りの税務署にお尋ねいただくか、国税庁のホームページでご確認くださいようお願いいたします。



編集後記

第4号では、チアーズ農園で種から育ててきたとうもろこしを収穫して笑顔いっぱいの子どもの姿や、英語を共通言語としたアジア ユースリーダーズで、仲間と共に楽しく学び、成長する学生の姿をお届けしました。楽しみながら学んだことは、子どもたちの記憶に残り、大きな成長の機会になったことと思います。今後とも「イオン1%クラブ」をよろしく願っています。

(橋本)



公益財団法人 ワンパーセント イオン1%クラブ

[発行元] 公益財団法人イオンワンパーセントクラブ
〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5番地1

Tel 043-212-6023 Mail 1p@aeon.info

右記のコードを読み取ると
当財団の活動詳細をご覧いただけます。

<https://aeon1p.or.jp/1p/>

